

埼玉医科大学病院ニュース

第81号

—感染症対策—



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2 ~ 7

感染症対策

ページ 8

通院サポートアプリ
LifeMark- コンシェルジュのご案内

ページ 9

スマート会計のご案内

ページ 10 ~ 11

アスリート通信
埼玉医科大学グループアスリートクラブ

ページ 12

基本理念
外来受診のご案内
新型コロナウイルス感染症に対する対応
外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS



座右の銘

生き延びるものは強いものではなく、
変化できるものである。
(ダーウィン)

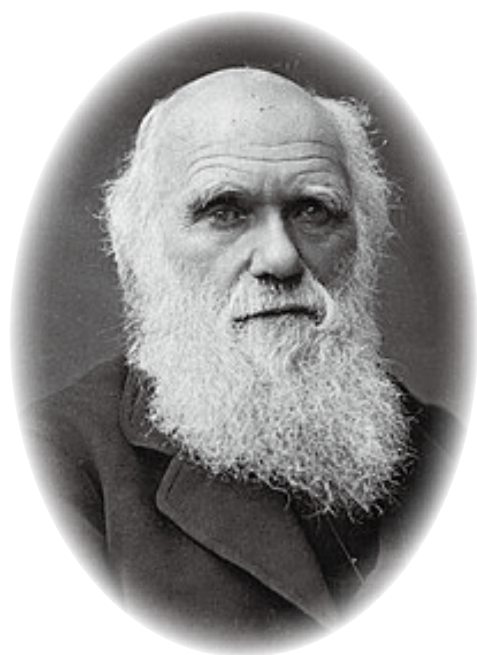
感染症科・感染制御科 診療部長

まえさき しげふみ
前崎 繁文

プロフィール
熊本県出身
長崎大学

医師として大切にしていること

患者さんに接するときにはいつも病気を診るのではなく、**患者さんの心を診る**ことに心がけています。常に患者さんが話をしやすいような人間関係を築き、患者さんの悩みや困っていることに耳を傾け、検査の値や、レントゲン写真などばかりに頼ることがなく、一見して患者さんの様子がいつもと変わっていないかをどうか確認することが最も大切であると思います。またこちらからわかりやすく、丁寧に病気のことを話してあげることが大切だと感じています。さらに、患者さんの家族にも同じような姿勢で接することによって、患者さんにのみならず、周りの人にも信頼される関係を築くことが大切と思いながら、日々診療に臨んでいます。



チャールズ・ロバート・ダーウィン
1809年2月12日 - 1882年4月19日

私の専門



前崎 繁文（まえさき しげふみ） 診療部長・教授

専門分野：感染症学、感染制御学、呼吸器内科学

資格：日本感染症学会 理事、日本化学療法学会 評議員、日本臨床微生物学会 理事、日本医真菌学会 評議員、医学博士



樽本 憲人（たるもと のりひと） 診療副部長・教授

専門分野：感染症学、感染制御学

資格：日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医、認定内科臨床指導医、日本感染症学会 感染症専門医指導医評議員、日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医指導医評議員、日本臨床微生物学会 認定医評議員、ICD 制度協議会認定 インфекションコントロールドクター、医学博士



戸叶 美枝子（とかの みえこ） 外来医長・講師

専門分野：感染症学、感染制御学、免疫学

資格：日本内科学会 内科専門医、日本感染症学会 感染症専門医、日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医、ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター、日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医、日本エイズ学会 エイズ認定医、日本医師会認定産業医、医学博士



今井 一男（いまい かずお） 講師

専門分野：感染症学、寄生虫学、感染制御学

資格：日本内科学会 認定内科医、日本感染症学会 感染症専門医、日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医、熱帯医学修士、医学博士

私たち（診療科全体）が大切にしていること

感染症は適切な診断をして、適切な治療を行えば、多くの場合は**治すことができる病気**です。感染症は他の病気と違って、病気を起こす原因微生物が必ず存在します。まずは、その原因となる微生物を正確に把握することが大切です。そのためにはさまざまな検査があり、適切な検査によって、迅速に診断をすることが大切と考えます。原因の微生物が判明すれば、その微生物に有効な薬剤を選択し、適切な用法・用量で患者さんに投与する必要があります。ただし、有効な薬剤は微生物の変化に伴って刻々と変化するため、常に**最新の情報を知っておくことが重要**となります。このように適切な診断と治療によって多くの感染症を治療できるように努めています。



こんな症状ありませんか

症状	症状に関する説明・対応
熱がある	多くの感染症では発熱を伴うことが多くあります。熱があるときはまず、何らかの感染症を疑います。
咳や痰がある	咳や痰があるときは呼吸器感染症を疑います。肺炎や上気道炎などの感染症を発症している可能性があります。
下痢やお腹の痛みがある	下痢や腹痛があるときは消化器の感染症を疑います。便の検査を行って原因となる微生物を特定します。
体中に赤いブツブツができた	体中や手足に発疹と認めたときは、麻疹（はしか）や風疹などのウイルスによる感染症を疑います。
なんとなく体がだるい	全身の倦怠感や疲れやすさを感じたときは何らかの慢性の感染症を疑います。
海外旅行から帰国して熱がでた	海外旅行から帰国して、発熱などを認めたときはマラリアなどの輸入感染症を疑います。

これらの症状が見られる場合は、
必要に応じて感染症科・感染制御科にて診察を行います。

埼玉医科大学病院 内科外来センター（049-276-2034）



感染症のあれこれ

感染症とは？

感染症はとても身近な病気です。

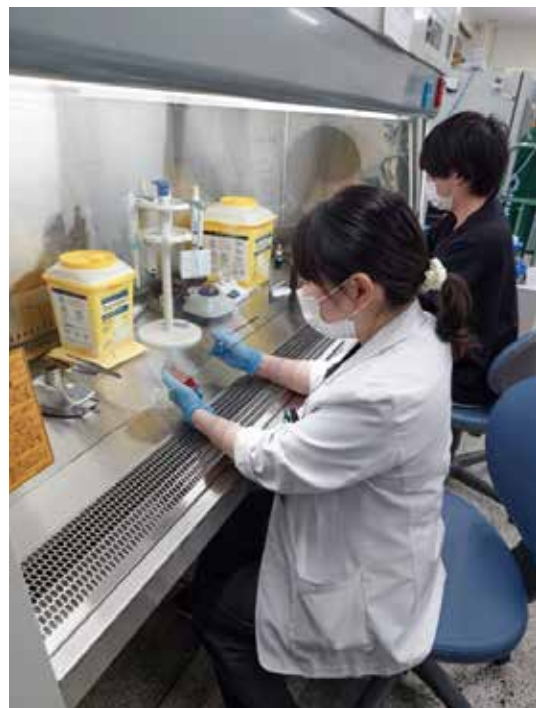
感染症というとがんや糖尿病などと違って一体どんな病気とってしまうことが多いかもしれません。でも、感染症はとても身近な病気です。例えば風邪も感染症の一つです。おそらく風邪を引いたことがない人はとても少ないと思います。風邪は多くの場合、ウイルスによる咽頭や上気道の感染症によって起こる病気です。また、寒くなると多くの人が罹るインフルエンザもインフルエンザウイルスによる感染症です。ほかにも足の裏などにできる水虫も白癬菌と呼ばれるカビによる皮膚の感染症です。このように感染症は私たちにとってとても身近な病気です。



感染症の原因

多くの感染症は**ヒトからヒトに感染する病気**です。数年前に大流行した新型コロナウイルス感染症もコロナウイルスがヒトからヒトに感染し、多くのヒトの命を奪ってきました。高血圧や糖尿病などの病気はヒトからヒトに感染することはありませんが、感染症はヒトからヒトに感染するため、時には一度に多くの患者さんが発生します。新型コロナウイルス感染症でも埼玉県内で多いときには1日で数千人の患者さんが発症したこともありました。このように感染症は時に大きな社会問題となり、ニュースなどでも取り上げられることが多い病気です。

感染症の**原因となる微生物は生物**です。この原因となる微生物は生物のため、常に進化、変化しつづけています。このことが、感染症と他の病気との大きな違いです。新型コロナウイルス感染症でもデルタ株やオミクロン株などその時に流行したウイルスが異なっていたことがニュースなどで取り上げられていました。これは同じコロナウイルスでもスパイクタンパクと呼ばれるウイルスの形を作っている構造物が少しずつ変化してウイルスにとっては生き延び易いように進化してきた証拠なのです。さらに、細菌感染症の治療に使う抗菌薬に対して、細菌は進化をして、その抗菌薬が効きにくいような子孫を作ってきました。これが薬剤耐性菌と呼ばれるもので、これまでその細菌の感染症の治療に有効であった抗菌薬が薬を使い続けている内に全く効かなくなってしまうのです。このように感染症を起こす原因微生物は生物であるため、常に生き延びることができるように進化し続けます。このことが他の病気と違って感染症の最も厄介な一面です。



予防ワクチン

感染症の治療には抗菌薬や抗ウイルス薬などの薬を使いますが、感染症は他の病気と違って**ワクチンで防ぐことができます**。多くの方は新型コロナウイルス感染症に対して数回のワクチンの接種をされたことと思います。この新型コロナウイルスのワクチンはメッセンジャー RNA ワクチンと呼ばれる全く新しいワクチンでその発見にはノーベル賞が受賞されました。多くのワクチンは病原微生物の病原性を弱めて病気を起こ

さないようにした生ワクチンと、その微生物の一部の成分をワクチンに使う不活化ワクチンです。ワクチンの多くは小児期や学童期に接種されることが一般的ですが、高齢者にも接種が勧められているワクチンもあります。例えば、肺炎の原因として最も多い肺炎球菌に対するワクチンは年齢を区切って高齢者には一部公費を使って接種されています。また、帯状疱疹の原因となるヘルペスウイルスに対するワクチンも近々、公費によって高齢者への接種が勧められています。このように感染症はほかの病気と違って予防することができる病気であることも特徴の一つです。



エイズって治るの？

エイズはもはや**不治の病気ではありません**。感染症科の外来には多くのエイズの患者さんが受診されます。エイズは正式には後天性免疫不全症候群と呼ばれる病気で、エイズウイルスによる感染症です。

このエイズウイルスはリンパ球という血液の細胞に感染します。このリンパ球は多くの感染症からヒトの体を守る働きとしています。エイズウイルスが感染したリンパ球はこの働きができなくなり、そのため多くの感染症が発症します。

これらの感染症は健康なヒトでは感染しない微生物まで感染し**日和見**感染症と呼ばれる病気を発症し、そのために多くエイズ患者さんがそれによって命を落としてきました。しかし、その後このエイズウイルスに対して有効な薬が開発され、エイズは治せるようになって来ました。ただし、十数年前までは1日に10錠以上の薬を数回に分けて飲む必要があり、中には副作用の強い薬もあり、とても飲みにくい薬でしたが、今では1日1回、朝にたった1錠の薬を飲むだけになっています。しかも、その効果はとても高く、98%の患者さんで有効とされています。さらに最近では2ヶ月に1回、お尻に注射するだけで治療ができる薬も開発され、エイズはすでに完全に治療することができる病気になっています。



まとめ

これからも新しい感染症が生まれます。**感染症の原因微生物は進化し続けています**。これまでヒトに感染することがなかった全く新しい微生物が感染することがこれからも考えられます。そのような感染症は新興感染症とよばれ、人類にとって大きな脅威となります。今回の新型コロナウイルス感染症も新興感染症として、我が国だけでなく、世界中の多くのヒトの命を奪ってきました。さらに最近では鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染事例が米国などで報告されています。鳥インフルエンザウイルスは現時点ではヒトへの感染は極めて限られていますが、そのウイルスが変異してヒトに対してより感染しやすくなってしまうと、爆発的な大流行が起こればと考えられています。このように感染症は他の病気と違い、人類や社会に大きな影響を与える可能性があることも大きな特徴として認識しておく必要があります。

当院の感染対策のご紹介

2003年に「院内感染対策室」の名称で発足した感染対策室は、**医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務にて構成**されています。患者さん、医療スタッフをはじめ、すべての方々を感染症から守るため、それぞれの職種が専門的な知識を用いて、問題となる感染症の発生状況を把握し、根拠に基づいた感染防止対策の実践、感染症治療ができるよう活動に取り組んでいます。

また、さまざまな活動に取り組むため、各現場の職員が、感染対策にかかわるチーム・役職を担って頂いています。具体的には、医師で構成される感染対策実務者、看護師で構成される感染制御リンクナース、多職種で構成されるICT（インфекション・コントロールチーム）と連携して活動を行っています。さらに、現在問題となっている薬剤耐性菌の出現を防ぐため、2017年には抗菌薬の適正使用を推進するチームとしてAST（抗菌薬適正使用支援チーム）が発足しました。年間約5000件の患者さんのカルテレビューを行い、1200件以上の介入を行うことにより、感染制御だけではなく、よりよい診療が行えるよう、日々活動しています。

これらを通して、高度な医療提供する施設として、新たな院内感染を可能な限り防ぎ、安全な医療を提供できるよう、全職種で感染対策に取り組む体制をとっております。



個人防護具の着脱教育



地域医療機関との合同カンファレンス



ラウンド



感染対策室メンバー集合写真

通院サポートアプリ

LifeMark-コンシェルジュのご案内

スマートフォンで
通院を便利に！



まずはアプリをインストール！

▼iOS



▼Android



※本アプリはタブレットには対応しておりません。

※AppleおよびAppleロゴは、Apple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

※Google Play およびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

通院サポートアプリ コンシェルジュとは？

お手持ちのスマートフォンにアプリを入れていただくことで、快適な通院をサポートします。

⚠ 利用開始にはアプリインストール後、窓口にて登録手続きが必要です。

埼玉医科大学病院では

▶ 診察状況のお知らせ

受付後は院内・院外のどこにいてもスマートフォンに通知でお知らせします。

▶ 予約日前日のお知らせ

スマートフォンに通知でお知らせします。

▶ 予約日の確認

スマートフォンからお好きなタイミングで予約確認ができます。

お問い合わせ

本館1階医務部窓口までお問い合わせください。

会計待ち時間をゼロに！
埼玉医科大学病院「後払いクレジットサービス」
スマート会計のご案内



外 来

1

受 付

スマート会計専用受付機でエントリー。
『★ご利用票★』が発行されますので
忘れずにお受け取りください。

2

診 察

従来通り診察・検査へ。終了後、
外来や検査室で会計ファイルを受け取ります。



3

帰 宅

会計ファイル、①の『★ご利用票★』を
スマート会計窓口へ提出。
処方箋・予約票などを受け取り、
会計を待たずに帰宅できます。

入 院

1

受 付

入院時にスマート会計専用受付機で
エントリー。
『★ご利用票★』が発行されますので
入退院の窓口へお持ちください。

2

入 院

入院時にエントリーいただければ
**入院中の定時請求も自動で
精算を行います。**
※定時請求は月締め翌月10日頃にお渡し
しています。
※請求後、約4日後にカード決済となります。

3

退 院

**退院時は入退院窓口に立ち
寄りず帰宅できます。**
※保険証確認等、お立ち寄りいただく場合も
ございます。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。

診察前のご登録で、当日の会計からご利用いただけます。

スマート会計ご利用登録サイト
<https://s6.medicalpay.jp/saitama/login/>



※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください。(Wi-Fiオフ推奨)

◇クレジットカードは現在お使いのカードをご利用いただけます。※①

◇領収書は後日、スマート会計領収書発行機から発行いただけます。

※①当院と提携のある右記カード会社に限ります。 

ご不明な点は右記まで
お問い合わせください



埼玉医科大学病院 医務部
スマート会計(後払いクレジット窓口)
TEL:049-276-1128(外来)
049-276-1129(入院)
(平日・土曜 8:30~17:00 日曜・休祝日除く)

※本サービスはグローリー株式会社「待たずにラク〜だ」を使用しています。('待たずにラク〜だ'は、グローリー株式会社の商標です。)

アスリート通信

埼玉医科大学グループ
アスリートクラブ

全日本実業団対抗 駅伝大会 (ニューイヤー駅伝)

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

ニューイヤー駅伝：30 位



1 区 川田選手 (左から 2 番目)



2 区 木樽選手

1 月 1 日に前橋市の群馬県庁を発着点とする 7 区間 100 キロを結ぶニューイヤー駅伝（全日本実業団対抗駅伝）に当院男子アスリートクラブが出場しました。チームは日本一の激戦区である東日本地区予選を通過し、3 年連続 4 回目の出場となりました。本戦では 12 位～15 位を目標順位として掲げ、1 区の川田選手が 13 位の好順位でタスキを渡しましたが、全国の強豪チームとの競り合いや後半の区間は向かい風も強くなり苦戦を強いられる展開となりました。しかし選手は最後まで諦めることなくアンカーの畝選手にタスキをつなぎ、30 位でゴールしました。現地では沢山の熱い応援をいただき誠に感謝申し上げます。本年も走りを通じて皆様に元気を与えられるよう競技と社業の両立に努めます。今後も応援のほどよろしくお願いいたします。



奥むさし駅伝：一般の部優勝

1月26日に埼玉県飯能市および日高市の6区間38.8キロを走る第24回奥むさし駅伝に当院男子アスリートチームが出場し、箱根駅伝常連校や実業団チームを抑え、一般の部で3連覇を達成しました！レースは1区小樽選手が首位でタスキを渡すと2区で東洋大学の猛追をうけ2位に後退しましたが、5区の石綿選手で一時50秒近くついていた差をひっくり返し、アンカーの内田選手で後続を引き離し1位でゴールテープを切りました。ニューイヤー駅伝の疲れが残る中でしたが、出走した選手は沿道の声援を受けながら全力を尽くして頑張りました。来年の奥むさし駅伝でも4連覇出来るよう頑張ります、沢山のご声援をくださり誠にありがとうございました。



1区 小樽選手



4区 吉田選手



6区 内田選手

埼玉県駅伝：一般・高校女子の部優勝

2月2日に鴻巣駅東口から熊谷スポーツ文化公園までの5区間20.5キロを走る第92回埼玉県駅伝に当院女子アスリートチームが出場し、女子の部で優勝いたしました。女子駅伝部は2年前にも同じ大会で優勝しており、沢山の実業団チームや学生チームが参加するなか5区間中3区間で区間賞を獲得する力走を見せました。熱い応援をありがとうございました。



スタート写真（左から3番目）



5区 伊東選手

ー基本理念ー 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

外来受診のご案内

診療日 月曜日～土曜日

休診日 日・祝日、年末年始（12/29～1/3）

診察時間 9:00～17:00

受付時間 8:30～17:00（初診の方 8:30～11:00、12:30～14:00（土曜日を除く）※）
※紹介状をお持ちの方のみ（一部診療科は除く）になります。

紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。

電話番号 049-276-1179

受付時間 8:30～17:00（月曜日～土曜日（日・祝日を除く））

新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**、院内では常に**マスク着用**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んでまいります。

駐車場のご案内

構内有料 駐車場

A 駐車場（障害者専用）、
B 駐車場、C 駐車場、
1ビル前駐車場（障害者専用）

→外来患者さんが最優先で駐車可能です。

構外提携 有料駐車場

上記以外のD-Parking
（白い看板）

→外来患者さんとお見舞いの方用になります。

検印

第1ビル駐車場管理室
本館1階整備センター

障害者手帳の交付を受けている方は、駐車券を手帳と一緒に割引処理窓口にご提出下さい。駐車料金が無料となります。

埼玉医科大学病院ニュース 第81号

発行日 令和7年3月1日

発行責任者 病院長 篠塚 望

編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室

TEL 049(276)1121

FAX 049(294)8222

www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

